

読者投稿欄「なまず通信」

神奈川県温泉地学研究所観測だより（以下、観測だより）では、読者の皆さまからの投稿欄を設けています。掲載記事に関するご意見・ご感想はもとより、皆さまが地震や温泉などについて身近に感じている事柄や、温泉地学研究所に対する叱咤激励などいろいろとお寄せいただければと思います。

○原稿は楷書体でお願いします。

○出来るだけ多くの方のご意見を掲載させていただくため、お一人様の文字数を全角で200字程度までとさせていただきます。

○紙面や編集の都合上、お寄せいただいた全ての原稿を掲載出来ない場合や、お送りいただいた文章を当所において一部編集して掲載させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

○お送りいただいた個人情報に関しては、当所において適正に管理するとともに、観測だよりのみに使用し、目的外使用は一切行いません。

送付先について

郵送・FAX・フォームメールでお受けしています。宛先は下記までお願いします。

郵送：

〒250-0031

神奈川県小田原市入生田 586

神奈川県温泉地学研究所

編集部会 宛

FAX：0465-23-3589

フォームメール：

<https://shinsei.e-kanagawa.lg.jp/kanagawa/uketsuke/dform.do?acs=SF0325>

「お問い合わせ内容」のところに
ご記入下さい。

お便りのご紹介

前号（第66号）を送付した際に、読者の皆様からのご意見やご感想をお寄せいただきました。掲載可としていただいたハガキやメール中から一部を紹介させていただきたいと思えます。

匿名希望様；

観測だより66号の送付有難うございました。研究所の基礎科学データに基づいて、応用科学分野での貢献を期待いたしております。

秋田県 小松様；

毎回楽しみにしています。貴重な学術論文、特に写真がよくて理解しやすいのでありがたいと思います。

匿名希望様；

2015年の火山活動の状況がわかりやすく解説してあり大変参考になりました。最近の熊本地震では、今までにない様な地震が続いています。日本列島全体が活動期に入っている様にも思われますので、今後、一層の研究活動の進展を願っております。

埼玉県 石川様

毎号楽しみにしております。

静岡県 石川様

今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

観測だより第66号の読者の方々からお送りいただいたはがき・メール・FAX等のご意見・ご感想などを掲載させていただきました。頂いたお便りの一部を抜粋させていただいたり、掲載できなかったお便りが

多数ありましたこととお詫び申し上げます。なお、前号では2015（平成27）年に活発化した箱根火山の活動について、多くのトピックス記事を掲載いたしました。それに対し、感想などのお便りを多数頂きました。

2015（平成27）年は、前号のトピックス記事等でお伝えしましたように、箱根火山での活動が活発化し、慌ただしい一年でした。2016（平成28）年においては、箱根火山での地震活動や地殻変動について目立った変化はなく、静穏な状態でしたが、噴気活動は活発な状態が続いています。2016（平成28）年7月には、大涌谷の園地が解放されるなど（本号の本間ほかによるトピックス記事）、箱根も従来の状況を取り戻しつつあります。

一方、神奈川県以外の地域に目を向けると、2016（平成28）年4月には熊本地震、10月には鳥取県中部地震などがありました。これらの地域では、過去にも繰り返し地震が発生していましたが、地元では、地震が少ないことをアピールし、企業を誘致するようなことが行われていました。こうした状況は、地震学や活断層に関する知見が、十分に普及していないことの表れかもしれせん。温泉地学研究所では、引き続き普及啓発活動、アウトリーチ活動にも努めて参りたいと考えています。

毎回のことではありますが、観測だよりを発行できるのは、多くの方々のご協力があったことです。なまずの会の会員の皆様、観測機器を設置させて頂いている施設の方々、また当所の研究活動を支えて頂いている方々に、この場を借りてお礼申し上げます。（道）